

令和5年度事業報告

令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類」に引き下げられ、「季節性インフルエンザ」と同じ位置づけとなり、各事業ともに概ね計画のとおり実施できた。特に、多くの実習等の受入れ、職員の各種専門研修は積極的に実施している。また、健診・検査事業としては、前年度不落札の職域健診、環境検査は精度管理等の高い質を要求され確実に実施することができた。しかし、地域健診では過疎化・高齢化の影響等により受診率減少が大きかった。併せて、学校検診では他機関参入により、不落札が多く収入・実績ともに減少した。

但し、健診事業は、協会けんぽの生活習慣病予防健診の増加、胃内視鏡検査の希望者増、子宮がん検診の個別検診扱い等の施設健診の充実により過去最大の事業収入となった。また、検査事業も、環境事業の新規顧客の獲得、価格改定により一定の事業収入となった。

組織的には、健康経営優良法人2024の認証を受け、職員の健康保持・増進を基本に、働きやすい職場環境の提供・維持を課題と考え、継続的に取り組む基礎を構築した。

1 公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業

健(検)診・検査の必要性を広め、受診率等の拡大につなげるため、以下の普及啓発事業を行った。

(1) 機関誌「みんなの健康」等の発行

- ア 機関誌「みんなの健康」：6／1、9／1、12／1、3／1の 計 4回
(内容：健康づくり、環境検査、その他)
- イ 事業団だより：毎月1日 計 12回

(2) 小・中学生の職場学習体験等

- ア 中学校：「ワクワクたかくさ」6月27日～30日（高草中学校）
「ワクワクさくら」6月27日～30日（桜ヶ丘中学校）
- イ 中学校：環境教室「水をきれいにしてみよう」1月19日（高草中学校）

(3) 各種大会等の開催

- 鳥取県がん征圧大会（9月12日 倉吉市） 入場者数:約200人
令和5年度がん征圧スローガン 「安心を 明日につなぐ がん検診」
- ア 特別講演
『子宮がんの予防を再考する』
講師 鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会委員長
公益財団法人鳥取県保健事業団 総合保健センター所長 皆川 幸久 先生
- イ がん征圧月間キャンペーンを実施 8月22日(県内3カ所)

(4) がん会員募集・複十字シール募金運動

- ア がん会員募集 毎年9月 募金額：244,000円
イ 複十字シール募金 毎年8月～12月 募金額：620,601円
9月24日～30日(結核予防週間) 結核予防キャンペーン:9月24日(県内3カ所)

(5) その他

ア 企業・市町村からの講演、指導依頼への対応

- (ア) 医師の講演
- ・ 11月17日、12月1日 鳥取県立倉吉総合看護専門学校
『疾病と治療Ⅱ(血液・造血器)』
 - ・ 3月16日 令和5年度 鳥取県健康を守る婦人の会全体研修会(米子市)
『結核について理解を深めよう～結核は過去の病気ではありません～』
講師：鳥取県西部総合事務所 米子保健所
医薬・感染症対策課 山田 まどか 先生
- (イ) 保健師、管理栄養士の講演等
- ・ 4月7日 鳥取卸センター(鳥取市)
『動脈硬化度測定』
 - ・ 7月26日 鳥取県立看護専門学校
『地域・在宅看護論実習Ⅰ 保健師業務について』
 - ・ 11月23日 株式会社ぎしき イベント参加(鳥取市)
『動脈硬化度測定』
- (ウ) 令和6年度特定健診・がん検診等に係る各種検診業務打合せ
- ・ 1月10日 WEB開催
 - a 『令和6年度 各種報告事項等について』
 - b 『検診実施指針の変更について』
乳がん検診(マンモグラフィ撮影)、胃がんX線検診(集団検診)』
 - c 『子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について』
- (エ) 令和5年度 鳥取県市町村等水道事業担当者連絡会
- ・ 1月26日 WEB開催
『PFASsによる環境問題これまでとこれから』
- (オ) 環境部門講師派遣
- ・ 4月19～21日、10月5・6・10日 鳥取県労働基準協会(倉吉市)
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習講師
 - ・ 11月21日 鳥取県浄化槽協会(倉吉市)
鳥取県浄化槽管理士研修講師
 - ・ 3月22日 鳥取県(倉吉市)
浄化槽の適切な維持管理の新たな取組み説明会講師
『浄化槽法定検査の判定について』

イ ピンクリボン運動等の活動へ参加

- (ア) 世界禁煙デーin 米子：不参加
- (イ) 鳥取市民健康ひろば：10月9日（動脈硬化度測定）
- (ウ) 春の鳥取砂丘一斉清掃：4月16日（岩戸海岸）
- (エ) 目指せ、ごみゼロ 新伯耆国クリーン大作戦：5月16日（皆生海岸）
- (オ) 山陰海岸ジオパーク一斉清掃：10月8日（青谷海岸）、
10月8日（岩戸海岸）

ウ その他実習受入れ

- (ア) 医療系各種学校
 - ・ 鳥取県立看護専門学校 地域・在宅看護論実習Ⅰ 7月26日
 - ・ 鳥取大学医学部保健学科基礎看護学講座
ヘルスプロモーション実習 4月26日、5月17日
- (イ) 医師卒後臨床研修
健診現場研修、保健指導・啓発活動等
 - ・ 米子保健所 7月21日、1月12日
 - ・ 鳥取市保健所 8月4日
 - ・ 倉吉保健所 11月27日
- (ウ) その他
高等学校等 令和5年度インターンシップ
 - ・ 鳥取県立鳥取湖陵高等学校 10月30日～11月2日

2 公衆衛生に関する必要な調査・研究事業

(1) 関係役職員が、各種専門委員会の委員として、県民の健康維持増進のための施策に参画し、鳥取県健康対策協議会へデータ提供等を行い、疾病予防へつなげた。

胃がん対策専門委員会、子宮がん対策専門委員会、肺がん対策専門委員会、乳がん対策専門委員会、大腸がん対策専門委員会、肝臓がん対策専門委員会、若年者心臓検診対策専門委員会、公衆衛生活動対策専門委員会、生活習慣病対策専門委員会に関係職員が委員として活動した。

(2) 検査結果の利活用

- (ア) 予防医学事業中央会 第57回技術研究会・技術運営会議：神奈川県
- (イ) 令和4年度健診結果(一次・二次)を各市町村へ性年齢階層別に集計し提供した。
- (ウ) 水道水質検査結果は、過去データを取りまとめて各水道事業体へ提供した。

(3) 研修等

職員の技術等のレベルアップのため以下の研修を行った。

ア 専門研修

医師・放射線・臨床検査・水質・環境測定等に係る専門知識の習得及び技術の向上を図るため、中央団体が実施する研修会へ派遣した。（68研修会 延べ110名）
（日本対がん協会・予防医学事業中央会・結核予防会・全国労働衛生団体連合会・中央労働災害防止協会・全国食品衛生協会等に派遣）

【詳細実績抜粋】（上部団体主催 68研修会の内46対面実施）

4/14～16	第120回日本内科学会講演会（WEB）
5/12	第4回対がんセミナー（WEB）
5/19	第46回日本環境測定分析協会支部会員連絡会（岡山県）
5/25～27	第105回日本消化器内視鏡学会総会（WEB）
5/27～29	日本超音波学会第96回学術集会（WEB）
6/9～11	第64回日本臨床細胞学会総会春期大会（愛知県）
6/15・16	全国給水衛生検査協会総会等（愛媛県）
6/30～7/2	第62回日本消化器がん検診学会総会（WEB）
7/6	第1回全国運営会議（予防医学：東京都）
7/14	2023年度全国支部事務局長会議（対がん：東京都）
・	
・	
・	
2/16	2023年度研究発表並びに最新技術発表会（環境測定分析協会：広島県）
2/28・3/1	令和5年度診療放射線技師研修会（対がん・結核：WEB）
3/1	飲料水検査技術研修会（給衛協：WEB）
3/7・8	第57回全国予防医学技術研究会（予防医学：神奈川県）
3/7・8	THP心理相談専門研修（中災防：東京都）
3/8～10	第88回日本循環器学会学術集会（WEB）
3/13	リスクアセスメント健診説明会（全衛連：WEB）
3/14・15	第75回結核予防全国大会（東京都）
3/15	THP実務向上研修（中災防：大阪府）
3/23	胃X線検査研修会（専門・中級コース）（全衛連：東京都）

【その他県内・外研修会】 64研修会 延べ114名

イ 一般研修・・・年2回開催

【8月16日（鳥取・倉吉・米子）】・・・全職員参加（各所TV会議システム利用：複数回）
・全職員対象に、安全衛生、個人情報、交通安全、人権等の基礎力アップを図る職員研修
（ア）安全衛生（資料配布）

『安全衛生委員会からのお知らせ』

(イ) 個人情報 (20分程度)

『個人情報保護と情報漏えい』

(ウ) 交通安全 (DVD視聴)

『してはいけない!危険な運転行為～「あおり運転」「ながら運転」～』(21分)

『できていますか?歩行者を守る運転

～横断歩道の交通ルールと事故事例から学ぶ～』(19分)

『追突事故を防ぐ!～人身交通事故の最多の種類～』(32分)

『交通事故は防げる』(18分)

(エ) 人権研修 (DVD視聴)

『アンコンシャス・バイアスをなくそう』(33分)

『あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～』(37分)

『アサーションで防ぐセクシャル・ハラスメント』(42分)

『メンタルヘルスと人権』(30分)

【3月29日(鳥取・倉吉・米子)】……全職員参加(各所TV会議システム利用:複数回)
・全職員対象に、リスクマネジメント対策、人権意識等のレベルアップを図る職員研修

(ア) 安全衛生教育(資料配布) 『安全衛生委員会からのお知らせ』

(イ) リスクマネジメント教育

『ミストラブルの考え方と報告の重要性』(15分)

(ウ) 個人情報教育

『個人情報に関する事故を起こさないために』(15分)

(エ) 接遇研修(動画視聴)

『医療接遇マナーの基本とポイント』(30分)

(オ) 人権研修 (DVD視聴)

『家庭からふりかえる人権 話せてよかった』(27分)

『誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ①

-よかったら想いを聴かせて-』(29分)

『わからないから、確かめ合う-コミュニケーション-』(29分)

『言葉があるから…無自覚の差別 [マイクロアグレッション]』(31分)

ウ 健診技術向上のための健診従事者研修 3月28日実施 TV会議システム利用

【内容】 健診の契約・計画等について、各委員会報告、カード・電子決済等

・その他 6月1日～3月27日 計25回 各項目別従事者研修会等

4月13日～3月22日 計25回 ISO9001品質会議等

エ 個人情報、情報セキュリティに関する講習

各課別実施 年2回 8月16日ほか、3月29日ほか 全職員対象

オ 中央団体が主催する管理職研修会等へ参加

(ア) 令和5年度がん征圧全国大会(9月7・8日 山口県)

(イ) 第68回予防医学事業推進全国大会(10月26・27日 島根県)

(ウ) 第75回結核予防全国大会(3月14・15日 東京都)

その他

・日本対がん協会全国事務局長会議(7月14 東京都)

・予防医学事業中央会全国運営会議(7月6日 東京都、10月26日 島根県)

・令和5年度結核予防会全国支部事務局長研修会並びに事務連絡会議と、

令和5年度結核予防会事業協議会総会・研修会(1月23日 東京都)

3 疾病予防のための健(検)診・検査及び生活環境に関する検査事業の実績について

地域の過疎化、健診対象者の高齢化、学校検診・職域健診や水質検査事業での他機関参入も予測され、厳しい状況が続いている。

《健診事業について》

【各がん検診事業】

地域健診「各がん検診」受診者が高齢化・過疎化等の影響も含め、予測より大きく減少している。収入については、胃X線検査の料金改定で増収、健診センターの子宮がん検診の個別対応で微減となった。

【総合検診事業】

地域健診の特定健康診査は、減少が止まらない状況にあり、特に中部地区での減少が大きかった。しかし、職域健診は、前年度不落札事業所の実施、協会けんぽの生活習慣病予防健診の増加と、希望者の多い内視鏡検査、定期健康診断料金の料金改定により、件数・収入が大きく増加した。

《検査事業について》

学校検診の入札により、価格差のある、尿検査(増加)と心電図検査(減少)の影響で、臨床検査事業として件数は増加したが、収入は減少した。

《生活環境に関する検査事業について》

水道法第20条検査の西部地区分について、米子市水道局の本格的運用により大きく件数・収入が減少したが、新規検査として「リンピアいなば」の各種検査、前年度不落札検査の実施、料金改定により収入増となった。

《まとめ》

今後も、顧客満足度の向上を目指し、接客、納期の厳守、内部・外部精度管理（結果の正確性の保持）の実施、渉外・営業努力を継続し、効率的な計画・スタッフ配置と適正な価格を維持しながら、安心・信頼される機関として努力していく。